

「関わること」「つながること」「支え合うこと」を心がけていけば自分に自信が持てる児童が増えるのかなと思います。

美祢市立伊佐小学校 津村元文

よい学級をつくるのが教育活動のすべての土台にあると考えています。

すべての子どもに居場所があり、前向きな学級集団をつくるのが私の理想です。しかし、まだまだ満足のできる学級づくりができていないのが現状です。

今年度も学級づくりで苦労はしていますが、子どもたちと一本ずつの糸でつながろう、子ども同士をつなげていこうと日々実践を重ねています。

これからも山口学級活動ネットワークに集うみなさんとともに学んでいきたいと考えています。

下関市立垢田小学校 西田智行

山口学級活動ネットワークが本格的に動き始めたのは、今から6・7年前だったでしょうか。

ちょうど、その頃、現在の勤務校へ異動してきました。専門教科をもち、実践研究に明け暮れる日々を過ごしてきました。そのような中で、いつも痛感させられることがあります。それは、どんな教材よりも、どんな指導法よりも、よい学級経営がなされていることが、授業づくりの要であるということです。

一人の子どものひらめきが、あるいは一人の子どものわからなさが、学級全体で共有され、仲間の惜しみない援助を得ながら、互いに学び深めていく。そのような学級づくりは一朝一夕でなせるものではなりません。教師と子どもの日々の温かいかわり合いの中から紡ぎ出されていくものでしょう。そのとき、教師には「技」が必要です。しかし、その「技」には教師の「精神」が伴っていなければなりません。私たちはとかく「技」を欲しがりますが、小手先だけの「技」は子どもの前では役に立ちません。「技」とともに「精神」を磨く必要がある。そう感じています。

山口学級活動ネットワークを通して、多くの「精神」と「技」をもった実践家の方に出会っていただき、多くのことを学ぶことができました。人と人とのネットワークの中でこそ、学べたことだと思っています。このつながりを、さらに広げていくために、自分にできることをやっていきたいと思うこの頃です。

山口大学教育学部附属山口小学校 吉田哲朗

学級経営に自信をもてずにいた中で出会った山口学級活動ネットワーク。

自分の周りにもたくさん素晴らしい学級経営・学級活動をされている方がいます。ただ、「感覚」ですべて行っているために、教育の連続性（次の学年につないでいく・他の先生に伝えていく）が希薄なのも事実・・・

国語や算数には研究授業や研修を通して周りに伝えていますが、学級活動はどうしても、そのような機会がありません。

そこで、自分の実践ももちろんですが、周りの多くの先生方の実践を学び、それを理論

と実践を結びつけて伝えていくことも山口学級活動ネットワークの大切な役割かなと考えています。

そのために、全力を尽くして頑張ります。

萩市立椿西小学校 福永博一

校内研修で教科指導の研究に明け暮れていた若い頃、異動してこられた校長先生の一言。“本校の子どもたちに、自ら自分たちの生活をよくしようという力が育っていますか？その力がなければ、どんなに教科指導の研修を進めても、子どもたちは育ちません。”

ある研究会で聞いたお茶の水女子大の森先生の言葉。

“教師というのは、専門性と人間性の両方が大事なんです。『誰が教えているか』ということが大事なんです。しかし、現実には『何を、いかに教えるか』という研究ばかりが進んでいるんです。これではだめなんです。”

また、ある雑誌で読んだ早稲田大の安彦先生の言葉。

“よい学級があって初めてよい授業ができるのであって、この逆ではない。もちろんよい授業を作っていくことによってよい学級にしていくことができるのは確かだが、初めに「よい学級ありき」なのである。”

これらが、私を“学級づくり”の道に引き込んだ言葉でした。

そして、これまでの教職経験の中で、教科指導でどうしても生かすことができなかった子どもを学級づくりの中で生かしていったことがたくさんありました。

しかし、学級づくりについて学ぶ場というのが、あまりに少なすぎます。多くの先生方が、学級づくりで悩んでおられると聞いていますが、それを解決する場がありません。そういう場を提供してくれたのが、20年前につくられた「学級活動ネットワーク」でした。その活動を通して、“一人でも多くの子どもたちを笑顔にできる学級づくりの在り方”を追求し続けている多くの先生方と出会いました。その活動にかかわる中で、一人ひとりの先生方がもっている学級づくりの考え方をみんなで共有するために、山口から何か発信できないだろうか。これが、山口学級活動ネットワークを立ち上げた理由です。

多くの人たちと、学級活動の実践を共有できる喜びを味わいたくて、これからもネットワークの活動を続けていきます。

下関市立名池小学校 梶田崇晴

2 冬の学習会のお知らせ

本年度も、恒例の冬の学習会を行います。

1 期日：平成24年1月8日（日）

2 テーマ：よりよい学校・学級生活づくりをめざす特別活動の実践

～実践上の課題を乗り越えるための方略～

学校・学級生活づくりには、問題がつきものです。例えば、楽しいイベントを仕掛けようとしてもなかなか乗ってこない子がいる。いつも自分勝手に、自分の思い通りに事が進まないとそっぽを向く子がいるなどです。そういう問題に、特別活動はどう対処できるのかを明らかにしたいと思います。

3 内容

午前の部 9：10開始

基調提案…梶田

実践提案…発表者は、ただいま交渉中です。

午後の部

井戸端会議式問題解決座談会

講演～杉田調査官

【お願い】

午後の井戸端会議式問題解決座談会では、学級づくりにおけるみなさんの悩みに応える会にしたいと思っています。そこで、お願いします。

学級づくりにおけるみなさんの悩みを知らせてください（下記アドレスまで）。みなさんからいただいたものを、冬の学習会当日、みんなで解決策を考えたいと思います。

sugi-net@jewel.ocn.ne.jp

3 メルマガ編集部からのお知らせ

◆ “学級づくりへの思い” 募集◆◇◆

100号を記念して、購読者のみなさんから、学級づくりで大事にしていることを募集したいと思います。下記アドレスまで、ご一報ください！

sugi-net@jewel.ocn.ne.jp

◆ 山口学級活動ネットワーク メールマガジンの登録について◆◇◆

現在の購読者は280名弱ですこれまで以上に内容を充実させていく必要を感じています。もっともっとメルマガ仲間が増えるといいなと思っています。

お知り合いの方にこのメルマガを紹介してください。登録については、山口学級活動ネットワークのホームページをご参照ください。

url: <http://www.yamakoshu.org/gakkatu-net/>

◆ メーリングリスト「学級づくり夢工房」◆◇◆

ネットワークでは、メーリングリスト「学級づくり夢工房」を行っています。これは、

メールを使って学級づくりに関する情報を気軽に交換し、皆さんがお持ちの実践を共有化しようというものです。

方法は簡単！ 下記アドレスまで「メーリングリスト希望」と書かれて送信してください。こちらで登録を行います。

ともに夢を追いかけましょう！

sugi-net@jewel.ocn.ne.jp

◆実践投稿のお願い◆◇◆

読者のみなさん、みなさんが取り組まれている情報を送ってください。学級づくりの実践を広げ、共有していきましょう。

どんな小さな事でもけっこうです。情報をお待ちしています。

=====

山口学級活動ネットワーク メールマガジン

☆ご感想・ご意見は

sugi-net@c-able.ne.jp または sugi-net@jewel.ocn.ne.jpまで

☆編集・発行 山口学級活動ネットワーク メールマガジン編集部

梶田崇晴（下関市立名池小）

津村元文（美祿市立伊佐小）

吉田哲朗（山口大学附属山口小）

西田智行（下関市立垢田小）

福永博一（萩市立椿西小）

=====